

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 水戸市立鯉淵小学校 】

1 実践テーマ	I ・ IV ・ V
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	第6学年1組 29人 第5学年1組 34人 第4学年1組 29人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体 育) ② 行事名 (オリンピック・パラリンピック教育講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	スポーツに対する興味・関心を向上させ、生涯にわたってスポーツを楽しむ心の育成を図る。
5 取組内容	1 オリンピック・パラリンピックへの理解を深める。 ①国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」の活用   ②オリンピック・パラリンピックコーナーの設置 

	2 オリンピック・パラリンピック教育講演会 (オンライン会議アプリケーション「zoom」を使用し、オンラインにより実践) 講師 ロンドンオリンピック200m平泳ぎ銅メダリスト 立石 諒 氏 演題「挫折からのクイックターン ～夢を叶える力～」
6 主な成果	国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」の活用について 【感想】 ・最初は興味がなかったが、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されると知り、ぜひテレビで見たい。 ・オリンピック・パラリンピックのことはあまり知らなかったけれど、歴史について分かった。 ・オリンピック・パラリンピックはただのスポーツではなく、世界の人と人がつながることだと分かった。 オリンピック・パラリンピック教育講演会について 【感想】 ・あきらめないで続けることが大切だと分かった。 ・オリンピックのメダリストと話せて、うれしかった。水泳を続ける勇気をもらった。 ・夢を目指して続けた結果、夢がかなったということにすごく感動した。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	・新型コロナウイルス感染拡大のため、11月の予定であったが、延期となった。その後も日程の調整を行ってきたが、オンラインでの開催となった。パソコン室のスクリーンを使うことで、大きな画面で講演を聞くことができた。
8 主な課題等	・講演を依頼するにあたって、人選が難しかった。本校には、アスリートとつながりがある職員がいたため、講演を依頼することができた。
9 来年度以降の実施予定	・本年度、立石 諒氏とつながりができた成果は大きいと感じた。できれば、実際に講演をしていただきたいと考える。